

従業員向け

規模別多機能型ステーション 望

○ 本評価表は、児童発達支援・放課後等デイサービス施設に従事する方の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		行政指導に従った平米数に順守しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15		人員配置基準より多くの職員勤務体制に整備されております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15		バリアフリーとなっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		朝・夕、適時、養育後に清掃及び整理解体制が整備されています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15		個々の心身・身体の個性と特性に合わせた養育・療育を実践しております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15		ケース会議を職員全体で行い、共有し統一した支援を行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		評価は、匿名の方もおられますが、内容を共有し事業所内で改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		適時、ミーティングを行い役員会議内容含め会議を行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15		事業者代表が、「福祉サービス第三者評価機構」職員なので、業務改善に取り組んでおります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		事業者代表が東北福祉カレッジ東京校で講義など行っているため、カレッジ研修体制が整備されています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		支援プログラムはHPに公表されています
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15		児発管さんが、5領域に沿ったアセスメント、モニタリングを行いケース会議にて職員で支援計画原案作成など行っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15		行政指導を遵守し必ず3名以上で作成し、職員全体で共有しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15		毎日、来所児童のカンファを行い統一した支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15		支援職員は児童の記録を5W1H形式で記載し、行動を特性・環境・サポートに繋げるよう確認しています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		ミーティングで、ご利用児童本人中心とした支援、家族支援、地域・環境支援など工夫を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15		ミーティングにて全体で協議しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		児童個々の状態に特化した個別支援を作成しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15		ケース会議で作成した支援計画に沿った支援をおこない、当日もカンファなどで毎日ケガなどが起こらないよう注意して支援をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		毎日、その日の振り返りと翌日のカンファを行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15		毎日共有と、申し送りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15		日々、振り返り・検証・改善について話し合っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15		法令に順守して行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15		管理者・児童指導員・看護職員により参加されています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15		コロナ禍も過ぎ徐々に連携は増えてきました。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		日中活動など、情報共有はしております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		支援学校との連絡会と情報共有は適時に行っております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)		15	事業者代表にて、区内の児童発達支援センター及び江児連との連携を意見交換を行っております。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15		区内の幼稚園協会などを通じて交流を行っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15		送迎時などで、日中活動内容などのお話は積極的にさせて頂いております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	8	モニタリング時にご家族様の支援も含めたお話をしております。 ※感染症事態は未だ多く広がっているため、施局的な活動はしていない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		契約時に、懇切丁寧に説明しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		ご利用児童本人中心とした支援、ご家族支援（レスパイトなど）、優先とした確認を行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15		支援内容に合意形成が出来てから支援を行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		モニタリング時や、送迎時などの会話では相談内容に応じて専門職員にて対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	12	場所の提供は行っています。 ※個人情報や感染防止などで完全には行えていないと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		事業所内で迅速に対応されている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15		Instagram配信及び「のぞみ便り」にて毎月発信しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		個人情報は確りと守られていると思います。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		配慮されていると感じます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15		幼稚園などとの連携も含め参加活動を行っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		確りと作成されています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		事業所には太陽光システムや蓄電池などの備品もそろえ済み対応がされている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		事業所内で作成された細かな医師指示書にて確認されている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		されている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15		されている
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15		されている

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		日々の振り返りなどで確認されている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		委員会の設置と研修を行っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15		3要件を満たすご利用児童もおられないので、身体拘束は事業所では行っていない。研修も「虐待と身体拘束研修」として行われている。